

# 5Sと見える管理で理想の職場づくり

「5S」は改善活動の基本であり、「5S」ができなければ、あらゆる改善活動の成果を期待することはできないと言っても過言ではありません。  
また、「見える管理」はわかりやすいマネジメント方法の基本です。だれが見ても一目で異常と正常がわかるような管理の仕組みを「見える管理」と言います。  
この二つの手法の必要性と実施方法をわかりやすく、事例と演習を交えて解説します。

**対象** ものづくりに従事されている方  
(実務年数3～5年程度の方)

**定員** 25名

**時間** 9:30～16:30 6時間  
(9:00から受付開始)

**日程** 令和4年11月10日(木)

**会場** 成長産業人材育成センター  
301多目的研修室1

受講者の皆様に興味を持って  
楽しく学んでいただける研修です

講師紹介

ケイ・サポート

桑原 喜代和

## プログラム

### 1. 5Sとは“掃除をするのが5S?”

- 1 整理・整頓・清潔・清掃・躰の本当の意味
- 2 「整理」とは? 赤札作戦で捨てる!
- 3 「整頓」とは? 見えるようにする!
- 4 「清掃」「清潔」「躰」とは? キレイを保つ!  
【演習】5Sチェックリスト
- 5 2S(整理、整頓)活動からのスタート

### 2. 理想的な工場が見える「見える管理」

- 1 5Sで理想的な見える工場をつくる
- 2 「見える管理」とPDCA・改善サイクル
- 3 見えるようにすることから始まる改善活動  
【グループ討議】

### 3. これなら出来る見える化の20の事例

- 1 工場と在庫の見える化 どうなっているの?
- 2 事務所の見える化 机の周りも例外ではない
- 3 役に立ついろいろな見える化の事例  
【演習】見える化の実施

### 4. 情報を利用した“見える化システム”

- 1 デジカメや無人カメラを使った見える化
- 2 設備機械やパソコンをネットワークで結ぶ
- 3 情報による見える化の成功ポイント

大手工作機械メーカーにて、加工と組立の自動化、生産管理の更新、ERPの導入、等のプロジェクトを推進。部品加工から製品組立までの一連の製造に関する技術、管理、情報の多岐に渡る分野での実務経験が豊富。コンサルタントとして独立、「ケイ・サポート」を創立。現場改善を中心として生産技術、生産管理や情報システムを含む製造全般についての改善、改革、革新を企業向けに支援中。

# コミュニケーション力の向上術

社会へ出ると「チームワークで働く力」や「報連相の実行」が求められます。その要求に応えていくためには、お互いの意思疎通をはかり「信頼関係」を築く力として、「コミュニケーション力」を向上させることが重要となります。本研修は講師が日頃から心掛けてきたことを中心に「コミュニケーション力の向上術」をわかりやすく解説し、グループ討議を通して職場での問題点と改善策を深く考えます。

**対象** ものづくりに従事されている方  
(実務年数3~5年程度の方)

**定員** 25名

**時間** 9:30~16:30 6時間  
(9:00から受付開始)

**日程** 令和4年11月17日(木)

**会場** 成長産業人材育成センター  
301多目的研修室1

受講者の皆様に興味を持って  
楽しく学んでいただける研修です

## 講師紹介

テクノサポートSAKAI

坂井 善幸

大手電機メーカーのグループ会社にて、42年にわたりマイコン応用製品からパワーエレクトロニクス製品、電力会社向けのシステム製品に至るまで幅広い製品の開発設計業務を担当。大企業とは異なりワンストップ体制での開発業務が中心であったため、設計開発業務のみならず、営業受注活動から生産改革活動に至るまで多岐にわたる分野での経験が豊富。退職後はコンサルタントとして「テクノサポートSAKAI」を創設。開発業務並びに生産改革業務を中心として企業を支援中。

## プログラム

1. 悩み事を共有しよう
2. 「コミュニケーション力」って何？
  - 1 「コミュニケーション」の意味
  - 2 日常の伝達の方法
  - 3 どんな能力を使うのか？
  - 4 なぜ伝わらないのか？
3. コミュニケーションに必要な能力
  - 1 相手が話したくなるような聴き方
  - 2 相手が聴きたくなくなるような話し方
  - 3 相手が読みたくなくなるような書き方
  - 4 相手の意図をすばやく理解する読み方
  - 5 流れを制御する力
4. 相手に伝わるためのポイント
  - 1 事前準備
  - 2 向こう岸に立つ
  - 3 Yes But の対応
  - 4 相手の満足度の向上
  - 5 自分を知る
5. グループ討議と発表
  - 1 ケーススタディーA及び職場事例
  - 2 ケーススタディーB及び職場事例